

令和7年度第4回米子市指定管理者候補者選定委員会 会議概要

1 日 時 令和7年10月16日(木) 午後2時開会

2 場 所 米子市役所本庁舎3階 第2応接室

3 出席者

委員

北農委員長、入江副委員長、大谷委員、澤田委員、仲田委員、松本委員

所管部局

経済部文化観光局観光課

(石田文化観光局長、田仲観光課長、観光課職員)

経済部文化観光局スポーツ振興課

(石田文化観光局長、成田経済部次長、スポーツ振興課職員)

事務局

藤岡総務部長、総務管財課職員

4 会議概要

[1 開 会]

[2 委員長あいさつ]

[3 諮 問]

[4 議 事]

(1) 米子市観光センター

①指定管理者候補者選定対象施設について

②指定管理者候補者案(選定委員会諮問案)について

所管部局の観光課が、施設の概要及び指定管理者候補者案(選定委員会諮問案)を説明した。

【主な意見・質疑等】

(委員) 築年数40年以上だが修繕予定はあるのか。

(所管課) 予算にもよるが、修繕場所を指定管理者と協議し進める。

(委員) 負担は市と指定管理者どちらになるか。

(所管課) 仕様書に記載の市と指定管理者の責任の分担による。資産価値の向上又は耐用年数の延長につながる大規模修繕は市、それ以外の軽微なものは指定管理者が負担。

(委員) 施設の老朽化によるサービス低下への懸念が事業計画書内に散見される。利用しやすい環境づくりに力を入れてもらいたい。

(所管課) 平成30年頃にエレベーターの増設、トイレ改修など、バスターミナルというハブ機能施設としての設備は最低限整えた。貸館・貸ホール部分については利用度的に後手になっている。大規模改修的な修繕は課題ととらえている。

(委員) 民間図書館としての施設活用とは。開設後の利用者数の変化は。

(所管課) 観光センターの一部を利用し、自主事業として行っている。開始間もないので利用者数の明確な数字はまだ出ていない。

③指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）の審議

所管部局の観光課が、指定管理者候補者案の評定について内容を説明した。

評価した点は以下のとおり。

- ・経費の節減について、市の試算した指定管理料に対して5%以上節減する提案となっている。

【主な意見・質疑等】

(委員) 近隣の施設との状況比較表で、他自治体の観光施設面積は米子市よりかなり小さいが、収入・支出は同程度になっている。皆生温泉の方が経済の規模感は大い印象だが。

(所管課) 近隣・近県で同様の施設は少なく、事例が少ないため比較しにくいものとなっている。

(委員) 事業収支決算書は皆生温泉旅館組合全体のものか。

(所管課) そのとおり。

【審議結果】

選定基準に基づく市の評定結果に異議はなく、市の評定どおり候補者案が承認された。

(2) 米子市皆生市民プール

①指定管理者候補者選定対象施設について

②指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）について

所管部局のスポーツ振興課が、施設の概要及び指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）を説明した。

- ・原則として、米子市内の他の体育施設の指定管理者は、この施設の指定管理者になることができない。

【主な意見・質疑等】

(委員) 令和4年度から電子予約システムを導入とあるが、一方で教室事業の申込のWEB化という要望があるのはなぜか。

(所管課) 電子予約サービスは、市が指定管理の業務として委託している体育館の利用予約に係るもの。水泳教室などの自主事業については従来通り窓口で申し込む形式になっているため、WEB化の希望の声がある。

(委員) 修繕に関しては市が負担するのか。

(所管課) 設備の修繕に関して金額による明確な線引きはない。投資目的、大規模修繕については市が行う。設備関係で計画的に修繕が可能な部分は指定管理者が行う。

(委員) AEDの設置や更新は指定管理者が対応するのか。

(所管課) 必要最低限の設置については市。利便性をあげるための追加は指定管理者が対応する。

③指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）の審議

所管部局のスポーツ振興課が、指定管理者候補者案の評定について内容を説明した。

評価した主な点は以下のとおり。

- ・地域の安全意識の向上に繋がる新規事業が提案されている。
- 懸念点は以下のとおり。
- ・収支予算において物件費が5年間据え置きで試算されている。

【主な意見・質疑等】

(委員) 事業者の収支予算書で指定管理料が年々減っているのはなぜか。令和8年度から

10年度にかけては特別修繕費を多く見込んでいるようだが、それ以降は減少している。

- (所管課) 特別修繕費はプールのボイラー関係など、機器の設備的な修繕。指定管理事業者が管理実績に基づいて年次計画でタイミングを計り、予算に織り込んで提案している。
- (委員) 市と指定管理者どちらが修繕費を負担するか住み分け等があるのか。
- (所管課) この施設に関しては明確な線引きは無い。特殊性のある施設であり、専門性に基づいて運営に必要な設備を適切に管理してもらうため、特別修繕という位置づけで指定管理者に任せている
- (委員) 今回公募だが、別の団体が特別修繕を見込まずに応募した場合、管理経費において大幅な節減がなされるという評価になる可能性がある。
- (所管課) 今回の事業者は施設の実情を把握しているため、確実な提案ができていている点はある。他事業者の場合、情報提供の程度により提案に影響があるかもしれない。
- (委員) 絶対評価である管理経費の節減の評価で新規事業者に不利にならなければいい。
- (委員) 施設運営について、水泳は事故など危険度が高いため慎重に対応してほしい。
- (所管課) 監視員の見守りを徹底しているが、引き続き事故などないように注意を払いたい。
- (委員) 有事の際にコミュニケーションがとれる体制をとってほしい。
- (委員) 管理経費の設定について、物件費の変動を見込んでいない点を低評価としている。これに関して妥当だと思うが、他施設において5年間同じ予算を設定しているケースがあり、そこは普通評価だった。
- (所管課) 当課所管の他施設についても同様なケースがあるが、そちらは管理業務の内容もかなり軽微で影響が少ないと判断し、普通評価をつけた。プール施設は特に光熱費の変動の影響が大きいため、物価上昇への見込みを不十分として低い評価をした。スポーツ振興課の所管施設については施設ごとの性質を考慮し、バランスをみて点数を付けている。

【審議結果】

選定基準に基づく市の評定結果に異議はなく、市の評定どおり候補者案が承認された。

(3) 米子市地区体育館及び屋外体育施設等

①指定管理者候補者選定対象施設について

②指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）について

所管部局のスポーツ振興課が、施設の概要及び指定管理者候補者案（選定委員会諮問案）を説明した。

- ・公募時点では「米子市地区体育館等及び米子市都市公園」という名称で募集したが、施設の実態に沿うよう「米子市地区体育館及び屋外体育施設等」という名称に改めた。
- ・米子アリーナの整備事業に伴い、米子市地区体育館及び屋外体育施設等の管理対象施設についても今回の選定より再編を行った。
- ・米子市営武道館については米子アリーナの併用開始に併せて閉鎖予定。閉鎖以降の収支予算については協議して定める。
- ・原則として、米子市内の他の体育施設の指定管理者は、この施設の指定管理者になることができない。
- ・優先交渉権についてシンコースポーツ中国株式会社を第一位、株式会社 JR 西日本後藤テックを第二位と選定した。

【主な意見・質疑等】

- (委員) 加茂庭球場の利用人数がかなり少ない。利用者を増やす取組はされているのか。
- (所管課) 積極的には取り組めていない。

- (委員) テニスコートは利用料をとらないのか。
(所管課) 東山庭球場はテニスコート1面の利用からでも利用料が発生する。加茂、湊山、淀江の各庭球場は全面を独占的に利用する場合のみ利用料が発生。
(委員) そうなった経緯は。
(所管課) 屋外施設は基本的に無料開放。夜間照明の費用だけ利用料を徴収。屋内施設及び設備関係に料金が発生という考え方がベースにある。

③指定管理者候補者案(選定委員会諮問案)の審議

- 所管部局のスポーツ振興課が、指定管理者候補者案の評定について内容を説明した。
株式会社 JR 西日本後藤テックについて評価した主な点は以下のとおり。
・法人の経営状況について、現行の指定管理者と比較しても優れている。
シンコースポーツ中国株式会社について評価した点は以下のとおり。
・サービス向上策について、利用者が多い体育施設への猛暑対策の提案や、東山公園施設の指定管理者との連携について明記されている。

【主な意見・質疑等】

- (委員) 自主事業について募集の段階で目標人数を定めているか。
(所管課) 募集要項に記載している。市では過去の施設の実績を鑑み700人と設定した。
(委員) 自主事業はその収入内で経費を賄わなければならないという決まりがあるのか。
(所管課) 必ずしもそうではないが、教室のように利用料金を徴収して運営する事業については採算性も確保するのが適切だと認識している。
(委員) 提案にある体育施設への空調設置について、設置費用はどこが負担するのか。
(所管課) 指定管理料内の一般管理費で負担する。
(委員) 評定結果について各事業者へのフィードバック等はあるのか。
(所管課) 確定後、各事業者へ結果を報告する。選定外の理由等は市から真摯に説明し、次に繋げたい。
(委員) 管理経費節減で言えば株式会社 JR 西日本後藤テックが優れていたが、これまでの実績と今後の計画性の面でシンコースポーツ中国株式会社という理解でいいか。
(所管課) そのとおり。
(委員) 口頭確認した内容も含めての評価か。
(所管課) 低評価に繋がりがねない部分は事前に詳細をヒアリングし、そのうえで評価した。

[5 その他]

次回の会議は10月17日(金)に開催されることが確認された。

[6 閉会]